

ファンタスティック・フォレージ™のグラス類

種子の概算粒数

品種名	マルチペレット粒数/グラム
デカンブシア ゼファー	172
エラグロステリス ウィンドダンサー	200
イソレピス ライブワイアー	287
ジュンカス ブルーアローズ	1,050
ジュンカス ブルーダート	702
ジュンカス ジャベリン	996
ジュンカス ツイステッドアローズ	900
コーレリア ブルースブライト	282
スティパ カプリチオ	142
スティパ シロッコ	172

ジュンカス ツイステッドアローズは、1つのペレットの中に異なる2品種を包埋したときのグラムあたりのペレット数です

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.5 から 6.2、また EC 値は 0.75mmhos/cm(2:1)以下が適正な範囲

播種

288 穴から 400 穴前後のプラグトレイを用いると管理しやすい。ヨーロッパでよく使われる 264 穴のトレイも可。ペレットには覆土をしない

発芽日数

品種名	発芽日数(日)
デカンブシア ゼファー	3-4
エラグロステリス ウィンドダンサー	2-3
イソレピス ライブワイアー	6
ジュンカス ブルーアローズ	12
ジュンカス ブルーダート	7-8
ジュンカス ジャベリン	5-6
ジュンカス ツイステッドアローズ	7-8
コーレリア ブルースブライト	4-5
スティパ カプリチオ	4-5
スティパ シロッコ	5-6

ステージ 1

地温: 発芽時の地温は 18-24°C

光条件: 発芽から初期の苗の生長には光が必要

水分: ステージ 1 の間は、やや湿潤(level 4)に水分を維持

湿度: 幼根が現れる頃までは相対湿度 100%を維持する

ステージ 2

地温: 18-21°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: 培地の水分は、根が培地中に行き渡るように中くらい(level 3)まで下げてドライぎみに管理

肥料: レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7ms/cm 以下)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える

ステージ 3

地温: 18-20°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: 表面が薄茶色に乾いてから(level 2)水を与える。このように、ウェットとドライの交互のサイクル(level 2)を続ける。苗を枯らせないように注意する

肥料: レート 2(100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2ms/cm)の肥料に濃度を上げる

矮化剤: この段階では不要

ステージ 4

地温: 18-19°C

光条件: 温度が管理されているなら、53,800 ルクス(5,000 f.c.)まで光条件を上げてよい

水分: ウェットとドライの交互のサイクル(level 2)を続ける。苗を枯らせないように注意する

肥料: ステージ 3 と同じ

鉢上げから出荷まで

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.2 が適正、培地の初期の養分量は中庸(EC 値 0.75ms/cm 以下)

苗の移植

苗を移植するときには深植えし過ぎないように注意する

温度(生育適温)

昼間: 17-23℃

夜間: 15-18℃

ここで紹介している各グラス品種は、温度が 10℃くらいまで下がっても生長を続けますが、生産に要する期間が著しく長期化するでしょう

その他の追加的な栽培情報については、右の表の「栽培上の注意」も参考しましょう

光条件

温度が管理されているなら、できるだけ光(日照)にあてて明るい条件に置く

かん水

中間的な水分条件を維持する。右の表の「栽培上の注意」も参考しましょう

肥料

リン酸分が低い硝酸態の肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)で週 1 回のペースで供与する。アンモニア態窒素を含む肥料を多く与え過ぎると、株が真っ直ぐ上向きに育たなくなるので注意する

矮化剤(PGR)

矮化剤は不要。ただし、ジュンカス・ジャベリンについては、移植後 2 週の時点でボンザイを 30ppm の濃度で散布すると、生産中や出荷の際の葉折れが軽減し、また株がより強固でコンパクトに仕上がる効果がある

ピンチ

ピンチは不要

スパーシング

密に鉢を置いた管理でも可能

コンテナサイズ

カットパックあるいは 6cm ポット: 1 本植えが標準

10cm 前後のポット(9cm、10.5cm 等): 1 本植えが標準

15cm ポット: 1 から 3 本定植が可能

18cm ポット: 1 から 3 本定植が可能

病虫害について

とくに典型的な病虫害の報告例はない

水分は切らさず

平均的な生産期間

品種名	播種から移植まで	移植から出荷まで*	栽培上の注意
デカンブシア ゼファー	4-5(週)	5-6(週)	苗を枯らせないように注意
エラグロスティス ウィンドダンサー	3-5(週)	5-6(週)	低温条件で管理するとコンパクトな株に仕上がる
イソレピス ライブワイアー	5-6(週)	5-6(週)	苗を枯らせないように注意
ジュンカス ブルーアローズ	5-6(週)	6-7(週)	水分は切らさずに、飽和に近い湿潤の状態を維持
ジュンカス ブルーダート	6-7(週)	6-7(週)	水分は切らさずに、飽和に近い湿潤の状態を維持
ジュンカス ジャベリン	5-6(週)	5-6(週)	十分な光条件とボンザイの散布によってコンパクトな株に仕上がる
ジュンカス ツイステッド アローズ	5-6(週)	6-8(週)	水分は切らさずに、飽和に近い湿潤の状態を維持
コーレリア ブルースプライト	5-6(週)	6-7(週)	
スティパ カブリチオ	4-5(週)	6-7(週)	
スティパ シロッコ	5-6(週)	6-8(週)	照度が高く、低い温度の条件では葉色の変化がよりきれいに現れる

上記の移植から出荷までの期間については、15cm あるいは 18cm ポットへ 3 本定植の場合の期間をベースにしています。15cm、18cm ポットへ 1 本定植する場合は、これらの期間よりもさらに 2 週ほど長く期間を要します

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤を用いる場合は、必ずガイドラインによる使用方法を遵守しましょう。当該の規定や条例のもとで、注意書きをよく読み正しく使用することが、使用者の責務です

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。

花壇定植や造園のついで

品種名	草丈(花壇定植)	株張長(花壇定植)	株間スペース	USDA の耐寒性分類
デカンブシア ゼファー	15-20cm	25-30cm	20-25cm	ゾーン 7 (最低温度-18℃)
エラグロスティス ウィンドダンサー	90-120cm	90-120cm	35-40cm	ゾーン 6 (最低温度-23℃)
イソレピス ライブワイヤー	15-20cm	45-50cm	コンテナ定植品種	一年生品種
ジュンカス ブルーアローズ	90cm	30cm	25-30cm	ゾーン 5 (最低温度-29℃)
ジュンカス ブルーダート	35-40cm	25-30cm	20-25cm	ゾーン 5 (最低温度-29℃)
ジュンカス ジャベリン	120cm	45-50 cm	30-35cm	ゾーン 7 (最低温度-18℃)
ジュンカス ツイステッド アローズ	45-90cm	30-45cm	30-35cm	ゾーン 5 (最低温度-29℃)
コーレリア ブルースプライト	15-20cm	25-30cm	20-25cm	ゾーン 5 (最低温度-29℃)
スティパ カブリチオ	35-40cm	60-70cm	30-35cm	ゾーン 7 (最低温度-18℃)
スティパ シロッコ	30-35cm	55-60cm	25-30cm	ゾーン 7 (最低温度-18℃)

630 231-1400
panamseed.com

© 2008 Ball Horticultural Company PAS08025-Eng

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です

この栽培資料は、2008 年に Ball Horticultural Company によって作成された英語による原版を許可の下で日本語に翻訳しており、一部に省略等があります

PanAmericanSeed®